



**POLSEMI**

---

[Text]

**MICHEL  
POLNAREFF**

**SPÈRME**

AUTOBIOGRAPHIE

---

**Open  
second Saturday afternoon  
of every two months  
2020**

contact to **A2Z Facebook**

# SPÈRME

P09

## 序文

あらゆる種類の農薬を積んだ読み物と戦うために、オーガニックな本を書くことにしました。

俺は男だ

病室で温度曲線を描くような生活をしてきた人や、エレベーターで頼んだ階に行くとは限らない人。

私は神秘的で謎めいていると言われていました。狂ってる 私はただの私です、単純明快です。自分を偽らず、自分に忠実であることを常に心がけてきた。素直で無私で寛大であること。誠実に。だからと言って全てを言わなければならないわけではありません。

P10

私の記憶にあるのは、1970年のジャック・シャンセルの番組「ラジオコピー」でのインタビューです。自分にもかかわらず遅れて到着してしまったので（メゾン・ド・ラ・ラジオの迷路の中で正しいスタジオが見つからなかった）、彼を少し苛立たせてしまった。彼と私の違いは、私の答えではなく、彼の質問、私を用意していたことです とにかく上品で、とてもお世辞にもお世辞とは言えない人でした。私は彼の中に「偉大な厳しさと美しい正直さ」を見て好きになっていました。彼は私の性格や人生経験、特に子供の頃のことをもっと知りたいと、私のことを理解しようとする好奇心が強いように感じました。

その時の話をいつも聞かれるのは、たぶん自分のことをよく理解するためだと思います。この好奇心は理解できるが、世界のすべての共感は、20年間の孤独を消すことはできない。人は不幸に直面しても、常に一人である。幸せだけが共有されている。

幸せと夢。

それにもかかわらず、ジャック・シャンセルは、他の芸術家のように、私が自分の過去を呼び起こしたくないことを理解していなかった、私の母に伝えて... まるで家族を否定するかのよう。全然！自分の過去や両親のことを話すこともありますが、必ずしもマイクの前で話すわけではありません。神秘を守りたい、神話を作りたいと言われるでしょうが、私は自分のために道を再発明したことはありません。私はただ、まだ終わっていない過去は置いておいて、今を生きたいと思っていました。過去は自分が経験するものです。思い出の瞬間に思いを馳せることは、私に重くのしかかる。私の記憶。みんなが私の思い出を共有しなければならないのか？

むしろ自分の音楽のために観客の心の中にいたい。

P11

舞台では私はポルナレフですが、人生ではミッシェルです。私たちは二人のキャラクターです。正統派だけど個性的な2つのキャラクター。ポルナレフは言葉を交わし、ミッシェルは自分の悪事を忘れる。ステージ上の私は、観客が期待する通りのポルナレフです。彼がピアノの後ろに滑るとすぐに甘さを出したり、彼の情熱であるロックンロールを演奏すると部屋を動かすことも知っているショーマンです。皮肉なことに、このピアノは長い間、小さなミッシェルにとって拷問の道具だった。しかし、ポルナレフは忘れてしまった。そう、私は記憶に刻み込まれるような嫌な記憶を忘れていたのです。

アメリカに引っ越してきてから、みんなと同じようにミッシェルになりたいと思っています

した。フランスでは誰にも負けにくいくらいポルナレフのままだったと思います。

## P12

私はずっと自由になりたいと思っていました。変装をしたことがなく、違う衣装を着ているだけなので、キャラに閉じ込められたことはありません。

肌に密着せず、ファンの方にお任せした衣装。2015年6月20日(土)にモンルソンで行われた、私のステージキャリアのオブジェを再発見できたのは、これらの人生のコレクターのおかげです。私の過去のことでなく、私は重要ではありません。まだまだ道は続いています。人生の最高期は明日です。次のレコード、次のツアーです。どうしてもなく未来が見えてきました。しかし、私はモンルソンのMuPopで私に捧げられた最初のPolnaExpoのオブジェクトの真ん中に自分自身を見つけることに喜びを感じました。

女性は私の人生の中でかなりの章になっています。この本の中では重要度は低いでしょう。大幅な幅でそれを喚起するのは不謹慎な気がする。私のチェイスボードは彼らだけのものです。彼らが有名であろうと匿名であろうと、私はそれぞれの親密さ、この親密さを尊重しなければなりません。細かいことを言う必要はないと思います。

淑女になったことがあります。今日、私は一人の男です。

## P13-14

時間をかけてブリュッセルでニューアルバムを作りました。長くなりましたね、レス・ムサイロン達も焦ってきましたが、他にどうしたらいいのかわかりません。私にとって、歌を作ることは常に使命でした。アルバムを作る時間が必要です。ぱっと見、よくわからない。私のモットーは、「感じたままにして、感じたままにしない」ということが残っています。“大の字になって頑張る怠け者”の私。平凡さに耐えられないので、そこに時間を費やしています。私のスタジオセッションのジェットコースターのような体験をさせていただきます。

それは「トラクター」(言語アドミラル、ムサイロン、ソース polnaweb.com) が、私がドライだ、インスピレーションを失った、音楽を作ることができなくなったと言っているのを聞くのは私をむかつかせる。ブリュッセルの雨のように、私のソースは乾いていません。私にとっては、彼らを黙らせ、いつも私を支えてくれている人たちや、私を発見してくれている多くの新参者たちが正しいことを証明することです。私には何も無いし、証明するものも何も無い、まずは自分自身から。

文字通り頭がおかしくなるのは、税金の亡命者と呼ばれている時だ。いつになったら理解されるのだろうか。私は税金を払わないために出て行ったのではなく、税金を払うために出て行ったのだ。このままでは全てを奪われてしまい、人生を立て直すことができなくなっていたでしょう。その結果、誰もが負ける。私が指摘したいのは、人が住んでいる国では税金を払っているのであって、アメリカはタックスハイブンとは程遠いということです。私はフランスで借りていたものをすべて清算し、社会的なreZOOの主張する「画面の向こう側の非常に勇敢な人たち」とは裏腹に、そうすることができたことを誇りに思っています。

たくさんの良いことをしてきましたし、たくさん傷ついてきました。いや、ここには墓碑文は書かないよ 私は今、5回目の人生を歩んでいると思います。私は不死鳥だと言われています。フランドルから昇る不死鳥。

しかし、私は男だ！結局、これ以上当たり前のことができるのか！？そして、税金に関しては、これ以上ないくらい当たり前のことがあるのではないのでしょうか！

2016年2月25日(木)。

P15

## 第1章

### 父とは正反対の存在

彼は息子ではなく、私が父親です。  
私は父親ではなく、息子です。  
私は誰だ？

だから多くの人がそう自問自答してきた。私が最初です。複雑な状況を知っていると、なかなか答えが出ません。

12月のある日の夜、水の中から彼を助け出した男です。それは私が救世主になるのか？本当にプレゼントしたのかな？私が案内した世界を考えると何とも言えない。私自身が本当に自分の居場所を見つけられなかった世界。

ルカは混沌とした世界に柔らかく入ってきた。

P16

毎晩のように、2011年12月27日には夕食に出かけた。パームスプリングスでくつろげるレストランがいくつかありますが、私の癖があります。ダニエラは同行したくなかった。そんな気分ではありません。

夕方遅くに帰宅した時には、彼女の姿は見当たらなかった。お腹の変な痛みを訴えていました。妊娠期間が迫っているにもかかわらず、陣痛が始まったことを理解していませんでした。彼女もそうだった。その日の午後に助産師さんが来て、少なくともあと一週間は陣痛が続くと言われました。でも痙攣はあった。あまりにも拍子抜けしていたので、アルカセルツァーを飲むようにアドバイスしました。

“ミッシェル、本当に痛い！—2錠ください！！”

こういう時にはいつも少し無力感に襲われます。私のセリフからして、全く準備していなかったと思わざるを得ません。私はこの赤ちゃんに愛情を持って8ヶ月間付き添っていました。奇跡の子。

誕生日に父親になることをダニエラに言われていた。彼女は、男性がカートを押しているようなグリーティングカードに超音波検査の写真を入っていた。中には乳母車が入っていました。彼女は「あなたは何でも持っているが、持っていないのは今から贈るこの贈り物だけ」と書いていた。“POLNABB”という最高の贈り物をしてくれました。誰かの人生を聞きながら、新しい人生が幕を開けていた。

男の子が欲しくてたまらなかった。

P17

これが体外受精を採用した理由の一つです。男の子を産むためにどんな苦勞をしたのか、誰も想像できない。特にダニエラ！3年という長い年月をかけて、彼女が自己犠牲を惜しまなかったことに感心しています。不妊治療の肉体的苦痛、努力が一掃され、失敗した後に失敗するのを見たときの道徳的苦痛。検査は全て正常でしたが、彼女は私が登山家と呼んでいた胚が落ち続けていたので、そのままにしておくことはありませんでした。

私は彼女が徐々に鬱に沈んでいくのを見ていました。あまりにも母親になりたがっていたので、他の方法では自分の将来が想像できず、妊娠していないことを毎回言われていました。ある医師は、彼女の体が母性を敵視していると考えていました。おそらく相性が悪かったと別の人は、彼女が子供を持つことはできないとまで言っていました。彼女が考えていたのは、私に相続人を与えることだけだった。どんなにコストがかかっても、どんな値段でも。

P18

今日、ルーカは私の人生の一部であり、私は彼女の人生の一部であり、ダニエラは私に約束した贈り物をくれました。

正直、最初はあまり賛成していませんでした。どんな父親になれるかな？俺のが参考になったとは言えないな 私の幼少期はこんなにもひどいものだったのか！？親にとっては異常としか言いようがありませんでした。父からは報復の脅威しか知らなかった そして、彼らの苦い表情は...。父は私に厳しい人生を与え、幼少期の私を否定しました。彼はいつも私に完璧を期待していたので、私は4歳の時から彼を満足させるようにしていました：キーボードの前で1日10時間。選択肢があったのか？自分に質問した覚えはないな

マドモアゼル・ブルースは私の最初のピアノの先生でした。彼女は私の指を叩いてイエスカノーかを判断していました。なぜ音楽を学ぶことがこんなにも苦痛でなければならなかったのでしょうか？こういう横暴な先生がいるからこそ、多くの偉大なアーティストが出世を逃してしまったのでしょうか。楽器に嫌悪感を抱くようなものですね！ピアノを教えてくれたことを自慢げに言われた時は 要求と執着は残虐性や暴力と同義であってはならない。

P19

幸いなことに、私の音楽理論の先生であるマダム・レミトルはとても親切でした。とても上品な方で、私は彼女の一番の教え子でした。

学校の学習では、裕福な子孫を集めたハッテマー・プリニエコースに参加しました。作曲家の孫息子であり、作曲家である私自身も（そう、私は3歳の時にすでにメロディを作曲していた）、彼らの手段を持たずに特権階級の学校にいました。半ズボンのダンディな中に袋のような格好をしていたとしよう。

近所の子供たちと一緒に路上で遊ぶことは許されなかった。父は雑菌やマナーの悪さを恐れていました。

自分が一番になるしかなかったので、すべてにおいて自分が一番になっていました。学校での成功で女子の間で威光を与えてくれればよかったのですが、授業を受けている優秀な生徒よりも、クラスの中のおかしな奴の方が好まれていることに気づかざるを得ませんでした。自分が一番になることにコンプレックスを持っていました。

趣味などの娯楽もなく、ただ勉強していただけでした。

P20

彼らは私のために特別に賞を作ってくれました、バイアス賞は、この学校の歴史の中で過去最高の平均を取得し、年間を通して18/20の平均を受賞しました。両親と一緒にシャンゼリゼの角にあるマリニャンの映画館に行き、フランソワ・ペリエと、パリ総督で当時の救世主であったドイツのディートリッヒ・フォン・チョルティッツ将軍から賞品を贈られました。伝説によれば、この賞の名前は私の名を冠したミシェル・ポルナレフ賞だそうですが、それはただの伝説です。

古くから伝わる公式によれば、完璧な人はいない。そのため、父の要求に応えるためには、完璧ではないにしても、優秀さを目指さなければなりません。しかし、これでは彼にとって十分ではなかったようだ。殴られてもいいのか！母は丸腰で、私を失望させないように励ますことしかできませんでした。私の母は絶対的に注目すべき女性でした。人生初の女性。おそらく、私は性的な出会いの中で彼女を求めすぎていたのでしょうか。

P21

スレートとチョーク。

彼女は女を作った。

誰が私の魂に答えたのか

この女性。

最初に彼女が唇と呼んでいたものをなぞり、首をなぞり、

次に彼女が主張していた乳房をなぞった。

彼女は、世界のすべての幸せはこの女性の絵の中にあっただと言って、

最後に残りの部分をスケッチした。

そして、このスケッチの前に私の魂は泣いた。

しかし、これはすでに女性として主張しているモデルです。

本当は模型よりも凶面、現実よりも夢の方が簡単だ。

あとは、女性と呼ばれているものを見つけるのに何年もかかるのではないかと考えさせられた。

(※ "Dame Dame"の歌詞より)

私がとても幸せな子供時代を過ごしていなかったら、母もとても幸せな子供時代を過ごしていませんでした。私たちの共通点は、父との生活が楽ではなかったことです。青春時代を通じて、そしてその後も、壊れていない鍋の代金を払っていました。

P22

壊れた鍋といえば、父がすでに茨の道を歩んでいた私たちの関係をスパイスにした日を思い出す。パーティーに誘われて、誕生日を迎えた女の子に贈る花束を買ってきてもらいました。もちろんお小遣いはありませんでした：これは裕福で愛情深い家族のための特権でした。父がサボテンを持って帰ってきていました。10代の女の子に贈る不思議なフラワーアレンジメント、私は彼に指摘した。壁を背にした彼の鍋で彼の地上滞在を終わらせたトゲのある貝殻をかわさなければならなかったので、明らかに横柄というか無礼だと思った考察。幸いなことに、面と向かって受け取らなかったで、白内障を待たずに失明していたかもしれません。

私は手ぶらでパーティーに到着しました。このエピソードの後、私は3年間、父と話すことはありませんでした。しかし、私たちは本当に話したことがあったらどうか？

ダニエラは、父性の暴力を受けた時の母の反応について、よく私に尋ねてきました。彼女に何ができる？フランスのすべての家庭では、父方の権威は文字通り尊重されていました。体罰は特筆すべきものではありませんでした。当時の法律では、子どもの保護は新しい問題でしかありませんでした。子供が何をしたいのか、誰も不思議に思わなかった：彼の父親は彼のために彼を決定し、彼の母親はその決定を強制した。父はおろか、母にも言い訳はしない。育ちがあまりにも過酷で、不必要にそうだったと今でも確信しています。今日、父は私にしたことで刑務所に行っていたら。

P23

横柄な態度で音楽院から追い出されたことがある。音楽の定義を聞かれて「音楽は音の芸術」と答えざるを得なかった。セディラを忘れてはいけないと提案していました。先生方は私のユーモアのセンスを適度に評価してくれていました。私はドアと同時に顔面に平手打ちを食らった。もちろん父からです。私の解釈にジャジーな音を入れすぎたことが原因で、数

年後に音楽院を除名されることになりました。

1926年に創設されたレオポルド＝ベラン賞は、若い音楽家の優秀さを称えるものです。共和国大統領またはその大臣の一人が当時授与したものです。2005年からはレオポルド＝ベラン国際音楽演劇コンクールとなっています。この非常に名誉ある賞を受賞したとき、私にとっては本当に悲劇でした：私の人生の恥を感じていました。私は14歳か15歳だったはずですが、母は私に半ズボン履かせて、サール・プレイエルでクラシックを演奏してくれました。彼女は私が大きくなるのを見たくなかった、私には子供のままでいてほしいと思っていた。そのことについての歌を書いたんだ、親がいかに所有欲が強いのかということについて。

#### P24

ソルフェッジョの金メダル、音楽院の第1位、その他レオポルド・ベラン賞など、父に恩義があると思っている人がいても、父には何の感謝も感じません。

誰かがキーボードの上に座って、どの音符を潰したかを言うように言われたと想像してみてください！父の背中あまり広くないのですが、何度か勘違いしていました。絶対的な耳を持っているにもかかわらず！絶対的なケツを持つようになるのは、もっと後になってからだ。唯一の遊び相手であるピアノのため、頻繁にお尻を叩かれることになった。

この悲しい時期のことをユーモアやダジャレにしても、そのドラマ性は損なわれません。もちろん、過去のことは忘れたいと思っている部分です。私の最高の思い出は消してしまうものです。

#### P25

彼らの言うことに反して、父は私の成功と幸福を防ぐために全力を尽くしてくれました。1967年10月25日、オリンピックでビーチボーズのオープニングを飾った時、彼は来てくれたが、母は来なかった。息子が大リーグの第一歩を踏み出す間、彼は彼女に家にいるように命じた。母はそのことでとても動揺していましたが、どうしたらいいのでしょうか？彼女が欲しがっていたこの男の権威に勇気があるのか？彼は彼女とファーストネームで契約していた。彼女は文句を言わなかった。それが第三共和制下の教育のあり方であり、家の人が決めたことなのです。父は権威を見誤っていた。彼のプライドのように。彼は私のショーを審査しにただ来ていただけでしょう。母の腕を喜ぶのではなく

私は「普通の生活」をすることをごく早い段階で拒否しました。創作に反していると思っていました。でもそれは父が私に望んだことです。ルーチンです。給料です。年金です。何が何でも芸術家の人生から私を奪い去りたいと思うほど、彼には全てが欠けていたのでしょうか。嫉妬だったのかな？私は単に彼の縄張りを侵害していたのか？彼女のこだわりは、私を偉大な音楽家にする事だったはずですが、私が銀行に就職したことを知ったとき、彼女を安心させてくれました。コンテンツ。

#### P26

父は私の快樂の糧になるようなことは何でもすることを組織的に禁じていました。私のインスピレーション。

Léo Pollはいくつかのメロディを考案しており、特にEdith Piaf(“La Java en mineur”、“Un jeune homme chantait”、“Partance”)、Georges Guétary (“A force d aimer”)、Danielle Darrieux (“Au ciel de juillet”)のためにメロディを考案していた。彼の最大の名声は、ロシアの囚人たちが歌った歌から学者モーリス・ドルオンの歌詞を音楽にしたことであり、その結果として「Le Galérien」が誕生した。父のスラブ人としてのルーツに触発され

て、父が作曲したこの曲は、イヴ・モンタン、シャンソン家、ムロウドジ家が順番に歌っていました。クラシックの巨匠だけを弾くことを課していたが、彼自身はジャズピアニストであり、シャルル・トレネ、エディット・ピアフ、ジャン・サブロン、ジョルジュ・ウルマー、ジャック・タティなどの伴奏者でもあった。父は1951年にモンタンの「Les Grands Boulevards」など、当時の超有名な曲のアレンジを作っていました。

## P27

踊る母を持ち、バレリーナになってボヘミアンな生活を送るべきだった。それでも、軍人の息子であったとしても、戦争に巻き込まれるようなことのない幼少期を過ごせただろう。父は速記タイピストであるべきだった、決してタイプミスではない！彼の頭の中で何が起こっていたのか考えてみて！諦めています。

彼は長男ボリスに厳しくしてたのか？話し合う機会もなく、異母兄も私をいじめてばかりで、パリのオーベルカンプ通りに何度か来ていました。ボリスは科学者としての地位を確立しています。彼は自分の道を選んでいました。おそらく彼は持っていたのでしょう。再会后、2013年8月10日にブルガリアで91歳で亡くなりました。彼の葬儀には行かなかった。私は私のところにしか行きません。そして、それは安全ですらない！

“私はどの星の下で生まれたのか？”と1967年に自問自答した。私のかな？2002年6月29日から小惑星ポルナレフが存在しています。主な小惑星帯にある小惑星。スイスの天文学者ミシェル・オリがヴィックで発見したもので、敬意を込めて命名しました。2.767 AUの半円軸、0.054の偏心、黄道に対して11.75度の傾きを特徴とする軌道を持っています。

## P28

私はナザレという地区のネラクの助産師の家で生まれました。ナザレのミカエル！これは私が1975年にアメリカで「今夜のイエス・フォー・トゥナイト」という曲を発表する前に言うべきことなんです。宗教リーグは、「今夜のイエス」になりたいと私を責めて、私の上に落ちてきた。どうしようもない、地理的なアタビズムだったんだ！」と。私にとってのトラブルはパンではなく、増殖したトラブルであることを除けばね！あとでパンを買ってくる！

私の出生に戻るには、私が恵まれていたと信じなければなりません。たとえ反省しても、私の十字架の道は、私の父の下で始まったのです。ベルナル・セノーという裏切り者のせいで、十字架につけられるまでには、あと数年待たなければならぬだろう。用心しておくべきだったな、彼はアンジェから来たんだ！

私は何かを信じています - 地球上に怪しい側近がいるであろう優れた力を？ある日、友人から墓石にどんな碑文がいいか聞かれました。私はこう答えました。“本当はユーモラスではなかったんです。人生はただの通過点だと思います。確かに一番大変だった。私は“その後”を信じています。そこでは皆が...

“私も含めてみんな天国に行くんだ”

## P29

結局、父は私がただのコンサートピアニストになると決めていました。その目標から私を奪うものはすべて無法化されていました。

ウエストサイドストーリーをラジオで聴くことを禁じられていました。レナード・バーンスタインの現代的すぎる音楽を評価して(いや、大好きだった)修正を受けていました。ビル・ヘイリー&コメッツは？そして、1960年9月にアルハンブラで行われたレイモンド・デヴ



オスのオープニング・アクトとして、私がとても楽しみにしていたジョニー・ハーリーデイを発見しました。私の彼への熱意が、何度かヒントをしてくれたのだ！後のステージで共演すると思うと

1957年、イギリスに語学留学していた私は、英語を学んでいましたが、私の人生を変えるような熱狂的なリズムにはまだ出会っていませんでした。後に友人のダニエルとカンタルでエルビス・プレスリー、フランキー・レイン、ブレンダ・リー、リトル・リチャード、リッキー・ネルソンなどのロックンロールを発見しました... 私の14年間のクラシック音楽に革命が起きた。エルヴィスの声とステージの存在感に魅了されました。ジェリー・リー・ルイスのピアノで運ばれる... 何度ジュリーカレッジのオルガンでブギウギを弾くのが楽しかったことか！オラトリアンズの気分じゃない！

### P30

レコードを所有することは許されなかった。私にとって禁断ではないにしても、従順であることは不可能でした。フィデスコアの友人ジェラルド・ウーグと一緒に、ポール・ドゥメール通り、ラジオ・トロカデロにあるこの店で新作を探しました。対象物への情熱から、聴けなかったレコードを買ってしまいました。彼らを見る楽しみのために彼らに触れるために。本やノートに隠して、どこにでも持って行った。自宅では、なんとかダイニングテーブルの延長線上の下に隠すことができました。10代の頃はいつも頭がいいと思っていたのに...。明らかに私の知らないところで、日曜日のランチ会があったとき。母が延長コードを引っ張り出してテーブルを整えようとした矢先、私のささやかな宝物がすべて姿を現し、ダイニングルームの床にタンタンタンや他のスピル、そして欠かせないカランバーと一緒に散らばっていたのです。今回の発見の結果に、もう一度戻ってくるのは有用なのか？

家を出てからの私の生き残り、人生の目標は、父とは正反対の存在になることです。時々、状況に直面した時に、彼は私のところで何をしてくれたのだろうと、今でも思うことがありますし、私は真逆のことをしています。矛盾からではなく、今言ったように生き残りから。彼のようになってはいけない自分と同じトラウマを持つポルナBBには論外なのは明白です。父は無意識のうちに彼を守るために仕えていたのかもしれませんが。子供がこの世に出てきて、自分が何を経験してきたのかわからないようなことがあれば、何でもあげてしまいます。想像してみてください、この赤ちゃんが、その上に、私の世界に入ってきたら！

### P31

父親がやってはいけないことを重視していますが、ルーカが生まれたときは、不思議なことに、本能的にどう振る舞えばいいのかを知っていました。

それで... 陣痛がだんだん痛くなってきて、ようやく陣痛が始まったことがわかりました。出産の準備をするためにダニエラのためにお風呂に入れてあげました。電話に出ない助産師さんに電話をかけた。確かに朝の3時過ぎだったけど、助産師には前もって営業時間があるわけじゃないんだよね！？旦那さんがやっと電話に出て、「そんなに主張して起こしたのか」と叱りつけてきました。

赤ちゃんの頭が出てきた時、助産師さんはまだいませんでした。信じたくないと思っていたのに、出産を控えていました。私の息子があつという間の出来事でしたが、小さな永遠のように覚えています。

### P32

配達には出ないと思っていました。すべて」を見たくないというこの思いは、未来の父親には必ず伝わるはず。必ずしもこのシーンを念頭に置いておく必要はありません。しか

し、気がつけば逆の立場になっていました！本当にどうしようもなかった。自分でパニックにならないなんて信じられない。この魔法のような瞬間は決して忘れません。

水中に赤ちゃんが出てくるのを見たときは、感嘆しました！“彼は完璧だ！綺麗な海の幸の盛り合わせのように見えます”私はすぐに彼の頭の下に手を置いた。私は彼を水中に置いておいた 1分、10分、100年... 彼はまだ臍帯で繋がっていて 母親の酸素を吸っていたからだ 空中からの洗礼のためにそっと引き抜いてあげました。

彼の悲鳴を期待したが、何もなかった。助産師さんはまだ来てない！ダニエラは息子を自分の側に連れて行くと、かろうじて聞こえる程度の小さな音を立てただけだった。なんて甘いメロディだろう.....生まれてくる赤ちゃんの最初の音は！？

そうして提督は母親に男を与えた。

### P33

疲れ果てたダニエラがバスタブに沈んでいたのも、私は一生懸命彼女を水につけないようにしていました。私の限られた知識の中で知っていたのは、首がないときは赤ちゃんの頭の下に手を入れることと、母体が呼吸している間は赤ちゃんも呼吸しているということの2つだけでした。しかし、恵みの瞬間は悪夢に変わっていた。

助産師さんに腹が立ったので、虫けらのように裸になってドアを開けてみました。そのために脱いだわけではありませんが、何もつけずに寝ていたのも、すでに裸でした。具合の悪いダニエラの世話をするために、彼女が赤ちゃんを産んだ時にはとにかく着替えていました。彼女が臍帯にクランプを置いてくれたのも、私は震えることなく切った。この世界に招き入れたばかりのちっぽけな男に、私は驚いた。私のその小さな欠片。

私が彼に命を与えたのに対し、「神」は彼にしか命を与えない。“小さな魚は、神が命を与えてくれるならば、大きくなるだろう”（ラ・フォンテーヌ）。

自分の命を持っていると考えるのは非常に僥倖なことです。

### P34

滞納待ちで疲れたと突然判断したり、通りすがりの隣人がうるさいと騒いだりと、気難しい大家さんがいるかもしれません。

あるいは、予想外の寛大さに駆られて、彼はあなたに予想外の追加リースを与えます。

少し前に、驚いたことに、ルーカが「パパ、マミーのお腹から出してくれてありがとう」と言ってくれました（アメリカではマミーが母親です）。

彼はどうやって知ったの？

数日後、なぜこの子を私の子と認識するために書類にサインをしなければならないのか理解できませんでした。気になるのは、この出生証明書にサインをしなければならないという緊急性でした。私の本能には騙されなかった。DNA 鑑定を依頼した時、ダニエラは泣き崩れた。その子は私の子ではなく、精子提供者の子でした。理由がわからなかった。今日も、クライマーたちがフックを外していることは分かっているが、受精のためのカフが用意されている。

父親であることを誇りに思っていたあの小さな男を忘れようとした、それは本当だ。ダニエラが私が子孫ではないと告白してきたので 絆を断ち切りました 家を出てホテル暮らしをしています。それほど衝撃的で、逃げなければならないほどでした。あまりにも動揺していたので、怒り以外でこの状況に向き合うことはできませんでした。どうして私にそんなことをする人がいるの？

### P35

またかよ！もっと大きく もっと大きく 私のお金が盗まれていました。沢山ある。私の国は私から奪われていました。今の自分の人生が奪われたような気がした。私のアイデンティティ 私の夢。息子が...

日本が津波という恐ろしい悲劇に見舞われている間、私は自分の頭を水の中に沈めて、裏切りだと思っていたことの痛みを呑んでいました。他人の不幸を考えることは、自分の不幸を背負うことにつながります。いつもたくさんの愛情を注いでくれる日本人に同情していました。旭日旗の国では、心が落ち着きました。

トラブルからは程遠いのではないのでしょうか。このエコドラマは、私たちが言われている以上に、はるかに深刻な結末を迎える大惨事です。日本が大変なことになっている、誤報や無力化、嘘でも現実と一致していない。

P36

だから私はダニエラとあの子のことを忘れようとした。成功しませんでした。ルウカに愛着があるんですが、どうしてそうならないんでしょうか？彼を産んだのは私です。私はますます父親のような気がしていて、技術的には父親ではないにしても、心の中では父親であり、行動への通路のようなものです。

何が何でも子供を産むという不幸な選択をしてしまった彼女を許してしまった。もちろん、彼女は不器用なミスをして、私を大いに傷つけたが、悪意は全くなかったと今になって知った。

誤解を解くために、ルーカが確かに母親の息子であることを確認しておきたいのですが.....

このハッピーエンドでの不幸な出来事は、多くの男性に勇気を与えてくれるはずだと思います。すぐにムサイロンに伝えたのは、絶対に嘘をつきたくないからです。自分が子供の父親ではないことを世間に伝えるのは簡単な選択ではありません。下手なイタズラで寝取られ美人のような気がした。途方もない不幸に加えて、私は屈辱を感じていました。軽蔑された。汚い

これを全て終わらせることができるのは、何と幸せなことでしょう。

P37

非常に深刻な統計によると、30人に1人の子供は、宣言された父親の子供ではありません！

父は平成元年に亡くなりましたが、私は理由がわからずに川を泣いてしまいました。私はおそらく、目印となる父親を失っていたのだろう。私が住んでいたアパートを訪ねてみると、彼の部屋に箱があり、私に関するすべてのプレスの切り抜きが年代順に並べられていました。その日、私は衝撃を受けました：父は明らかに私の大ファンでした。几帳面なコレクターかな？

2007年3月、パリマッチの依頼で、私はこのアパルトマンに戻ってきました。3階に上がり、呼び鈴を鳴らし、入居者がドアを開けると、「私のアパートで何をしているんだ」と驚いて心配していると、警察が立ち入り禁止にしていた。私はすぐに入室許可を求めて安心させました。彼は親切にも同意してくれました。このアパートがこんなに狭くて暗いとは信じられませんでした。クローゼットだった！ダニエラにリビングで寝ていた床の間を見せた。特に感情は感じませんでした。完全に切り離されていました。変な感じだった。昔の観光客のような気がしました。私はいつもそうしていました。

P38

父はもうあのアパートにはいません。でも、彼はまだ私の頭の中において、そう、私の心の

中にいます。責めることが少なくなりました。彼がまだここにいてくれたらいいのに。本当の意味でのマンツーマンでの説明があってもよかったのに。好戦的なものは何もない。最終的には父子家庭になることができました。サインをくれるのかな？父親を欠くことは犯罪ではありません。

別れて数ヶ月後、南フランスのブドウ畑の真ん中で包まれているルーカの写真をダニエラが送ってきたとき、私は彼を守りたいと思いました。冷たくしてほしくなかった。本当は、絶対に苦しまないでほしいと思っていました。ダニエラには、彼らの面倒を見るためにロサンゼルスに戻ってくるように頼んでいた。彼の世話をするために

今日の私の大きな幸せは、3Pとして生きることです。ルーカの成長を見るのが大好きです。生きるために学校に迎えに行き、夜起きたら寝るのを手伝っています。あんなにのんきな彼を見ていると、いつか自分もそうだったのかなと思ってしまいます。

ルーカが新しい言葉を覚えるたびに、私は不思議に思う。彼が私の気を引こうと手を取ったり、腕を掴んだりすると、私は圧倒されてしまいます。彼が私に寄り添ってくると、目に涙が浮かんでくる。私は結構泣きやすい方で、特に良い時には泣いてしまいます。自然の美しさを楽しんでいても、私は木の前で泣くタイプではないのですが、自分の敷地内にある木を伐採した日には涙が出ました。隣の家の壁を持ち上げていました。気分が悪くなり、とても悲しくなりました。砂漠ではかなり珍しい、美しい檜の木でした。

P39-40

私が涙を流しながら残した風景は、ボラボラだけでした。そこに3週間滞在した後、私はどんな文明からも遠く離れたこの楽園に滞在している自分を見ていただろう。多くの人がそうでしたが、私の選択ではありませんでした。

だから、素敵な瞬間、素敵な映画、良いギターリフ、そしてそう、パパと呼んでくれる子供の笑顔に感動しています。

実はそれで曲を作って、それに合わせてルーカが歌っているんです。二人ともとても好きな曲です。車の中でよく聞くのですが、彼はビートをよく叩いてくれます。皮膚の下にリズムを持っている。彼はパームスプリングスの私のスタジオで私と一緒にレコーディングするのをとても楽しんでいました。彼はスタジオで私と何時間も過ごすことができました。夕方に出勤するときは、こっそり出勤しないと、彼がやっていることを落として一緒に行くことになってしまいます。私の真似をしてピアノを弾いてくれます。彼にとってはゲームのままではなければならない。ステージ上の「パパ」のファンだそうです。私のZe [re]Tour 2007のDVDを見る。彼は私の歌を全て心で歌ってくれています。気に入っています。私のメガネはどうなの！借り続けていたので、子供用にお揃いのペアを注文しました。渡した時は大喜びでした。

擬態はもちろんありますよね～、双方に。

子供たちは無邪気さ、真実、純粹さ、論理を表しているの、私は子供たちを愛しています。私は誕生日が嫌いな、私の誕生日を忘れるのが好きなの

忘れられない日は一つだけ、12月28日。ルーカを海から救った日。  
良心のルーカ！

## 第2章

私は昔から恋愛が大好きで.....。

“人が思いつく言葉がある

しかし、社会で言うことではない。  
社会はどうでもいい  
そして、彼の疑惑のモラル  
君とのセックスが好きなんだ »

人類は男性と女性の2つに分かれています。完全に対立しながらも、必死に理解し合おうとする。悔しいですね、この2つの間にある誤解、それは敗北しかない杭のない戦争なんです。とはいえ、私は女性を通してしか生きていません。女性は絶対に素晴らしい役割を持っています。運ぶことから始まり、支えてくれる。彼らはいつも私のインスピレーションの源でした。私の人生においても、私の音楽においても。1967年、私はすでにこの広告を歌い始めていました。

#### P42

ドン・ファン  
毎日、毎晩の生活のために  
自由な心を求めている。

ドン・ファン  
住まいのために  
星の近くに太陽の近くに巣を作る。

生活のために  
あるいはもっと  
生活のために  
あるいはもっと少ないかもしれません。

せっちな人は、会社や友人のために  
安全な人を見つけたいと思っている。

*Ame câline  
Cherche cœur libre tous les jours  
Toutes les nuits  
Pour la vie*

*Ame câline  
Offre nid tout près du soleil  
Près des étoiles  
Pour logis*

*Pour la vie  
Ou peut-être plus  
Pour la vie  
Ou peut-être moins*

*Ame impatiente  
Aimerait trouver âme scur  
Pour compagnie  
Pour amie.*

#### P43

私は結構泣きやすいんですよ、特に良い時は。自然の美しさを愛していても、私は木の前で泣く方ではありませんが、自分の敷地内にある木を伐採した日には涙が出ました。隣の家の壁を持ち上げていました。気分が悪くなり、とても悲しくなりました。砂漠ではかなり珍しい、美しい樫の木でした。

騙したのは分かってる 自分の気持ちではなく、期待していたもので、完璧な恋を求めていると言いながらも、何よりもそれを恐れていました。慰めを恐れていたように自分が幸せだったら、何を証明しなければならないのだろうか。探す？

私は昔から恋愛好きだったと思うのですが、あまり意識していませんでした。愛することが大好きでした。少し、たくさん、狂ったように、残念ながら。トリュフォーの映画のように、私の心の物語は「あなたがいてもいなくても」で終わった。長い間、私は愛に抱かれ、破壊されていました。

愛は地球上で一番大切なものです。男は女のみで進歩する。ピアノの前ですっと一人でいられたかもしれない。女性のためにこの仕事をしたのですが...。なぜなら、私は彼らを生きていて、彼らに私を愛してもらいたいと思っているからです。成功だけで人間関係を落ち着かせることができました。

非常に早くから、女性は私の人生に欠かせない存在になりました。彼らは今でも、たとえ

今は複数形よりも単数形になっていても。すぐには興味が湧かなかった。学校では、宿題を手伝うためだけに存在していました。その時、私はプロとして成功したからこそ、彼らの目の中にしか存在しなかったのでしょうか？私の制覇の多くは、私の音楽の魅力によるものと心の中で知っています。

P44

私の「バラ色の心」の広告に最初に反応してくれた女性はジョルジアでした。1967年のニースでのコンサートの最後に、楽屋に奉納を取りに来てくれた彼女に会ったことがある。このギリシャの美女は私を夢中にさせた。自由をこよなく愛していた私は、彼女と一緒に、嫉妬の苦悩を発見した。鼓動する心臓のためのこの忌まわしい牢獄。二人とも殺されそうになるような破壊的な関係になっていました。私は彼女のことをとても愛していました。当時の私は、どれだけ情熱が愛の敵なのか知りませんでした。恋愛に情熱を傾けたこともあります。私は、美しい物語は、彼らが可能ではないときだけ本当の価値を持っていると思っていました。愛は情熱とそのドラマの中でしか成り立たないと信じていました。

ジョルジアに触発されて曲を作りました。1970年にミコノス島で休暇を過ごしていた時に、ギリシャのヒット曲に恋をしました。“Kyra Giorgena”はGiannis Kalatzisによるもので、当時の有名な映画「O trellos tis plateias Agamon」のサウンドトラックでした。その晴れやかなメロディーは、パリに戻ってから頭の中を駆け巡っていました。ということで、フランス語にすることにしました。あまり好きではなかったのですが、ミコノス島での出会いを夢見るギリシャ人の恋人に捨てられた男の絶望を描いた作品です。

P45

こんにちは ジョルジーナ  
あなたの国は天気がいいですか？  
空は青いのか？  
パリはいつも灰色

でも、もしあなたが私のところに戻ってきたら  
蘇ってくると思う  
夜が輝くように  
欲しければ

ああ、ジョルジーナ、そうだね、ひどいよ。  
あなたがいないければ、私はもうお腹も空かないし、強くもない。  
そして、どんなに自分を責めても  
そんなに猛烈になるなよ。

（※ “Alló, Georgina” の歌詞より）

Alló, Georgina  
Fait-il beau dans ton pays ?  
Le ciel est-il bleu ?  
Paris, c'est toujours gris  
  
Mais si tu me revenais  
Je crois bien que tout reviendrait  
Que la nuit même brillerait  
Ah ! Si tu voulais  
  
Oh Georgina, oui, c'est atroce  
Sans toi, je n'ai plus faim ni forces  
Et quels que soient tous tes reproches  
Ne te montre pas si féroce.

P46

壮絶だな、ジョルジアは。彼女は私を殺すと脅した。自殺するために 私たちの話は手に負えなくなった。

ウォーター、ジョルジア...

私の美しいヘレンだけが私を殺そうとしたわけではありませんでした。あの美しいアメリカインディアンの少女を思い出します。こんなにたくさんの脚を持つ女性を見たことがなかった。二度も私を殺そうとした。斧で 実は、彼女は有名な火水のお酒には耐えられなかった

のです。首筋に足を持って行ってしまった。彼女のじゃない

はい、女性は私の人生で多くのことを意味している場合は、私は彼らを愛するために非常に遅れて始まった“本当のために”。このように言い換えてみましょう。私は非常に厳しく、優しさを欠いた教育を受けていました。親同士のキスを見たことはありません。誘惑の参考になるポイントがなかった。それに、自分が悪いと思っていた。だから、本当に男になるためには「売春婦に行く」ことにしていたのですが、私を成長させてくれたのは（あらゆる意味で）金歯のアルジェリア人女性で、「モン・ビケ」と呼ばれていました。この「何か悪いことをしている」という感覚が、私にとってはかなりトラウマになっていました。彼女は物事が始まる前に、私に石鹸を渡していた。

P47

私がまだパリに住んでいた頃、彼らが司会をしてくれたのは凱旋門の頃でした。ティルシット通り 夜になると、保温のためだけに車の中に一人連れて行って行っていました。ウェーダーにもかかわらず、寒さで足が赤くなっているのが見えた。寒さに震えている人を見るのは耐えられませんでした。売春婦にはいつも尊敬の念を抱いていました。私は彼らがとても勇敢で、孤独で病んでいる社会にとっても役立つと思う。レイプはたくさん防いでいると思います。彼らと一緒にいると、ごまかしがきかなくなり、あらゆる面で良いことがあります。そして、あらゆる角度から。性的なりハビリコースを提供してくれるこれらの専門家と一緒に本格的な治療を始めたのですが、他の人よりもはるかに安い費用で済むこともあります。

自分の理想の女性には絶対に出会えないと思っていたので、自分の中の二人の男性と一緒に暮らせる女性を探さなければならなかったのです。私には不可能に思えました。女性と別れたことがない、スーツケースの詰め方がわからない！ 私をたくさん残してくれたのは女性です。最初はとてもうラブだった二人ですが、最後は怖くて仕方ありませんでした。どうやって安心させればいいのかわからなかった。男子供側が誘惑して、まず私を守りたいと思わせてから、私を成長させるために。

1994年に私のバーチャルマスコットに赤ちゃんを選んだことは、決して取るに足らないことではありませんでした。私の音韻曲「LNA HO」は、自分の作詞作曲の仕事の説明するために、強力なクリップが必要でした。アイデアには価値があり、それを応援することが大切でした。

P48

あの漫画のキャラは俺だったかもしれない 非現実の世界で楽しむことを許された赤ちゃん。夢だ キューブを使って言葉を形にする遊びをしていました。今では文字の言語になっている歌をベースにしていたので、文字から言葉を作ったそうです。そう思ったのは、カリフォルニアのナンバープレートのおかげです。ナンバープレートに文字や記号を入れて、言葉や名前を形成することができます。囚人が作るんだ しかし、アメリカの大衆に溶け込みたいという願望に忠実に、私は目立たないように匿名のナンバープレートを好んでいました。

何年も経った今でも、SMS 言語の押し付けを見て笑わせてくれました。しかし、フランス語を正しく書けなくなったティーンエイジャーや大人の間で、ここまで普及してしまったのは残念です。私にとってはただのゲームでした 本当に成文化された略語が氾濫しすぎていて、この不幸な流れにはついていけないと思う。すぐに理解できないメッセージが送られてくることもあります。これは非常に還元的で、私たちの美しい言語にダメージを与えています。

P49

私の歌もビデオクリップも当時は革命的でした。とても美しい出来栄でした。私が尊敬

するパスカル・ルーランという優秀な監督を呼んでいました。ドローイングプレートからスタートしていたのですが、20人くらいの人たちと3ヶ月かけて台本を作っていました。3分間の動画の中で、ロサンゼルスが含んでいる夢の部分を見せたいと思いました。自分の現実から夢の世界を作るために

視聴者にイメージを押し付けたくないの、自分の曲のミュージックビデオをシステムチックに作らないようにしています。視聴者にイメージを押し付けるのではなく、彼らは私のレコードで自由に自分の好きな宇宙を発明するべきなのです。クリップは私の意見では必ずしも有利とは言えませんが、「LNA HO」にとっては必須でした。そして成功した。

誘惑しようとしめない限り、人は人生を進歩させることはできないと確信しています。誘惑はすべての基本です。男性の目線と女性の目線の区別がつかなくて困っています。性的には、女性の視線に触れるのはもちろんですが、男性の視線の中にある感嘆の声にも触れています。明らかにレベルが違う。私は女性を誘惑する力を持っていると感じるのが好きで、それは私を安心させ、私の最初の年の恥ずかしさを回避するのに役立ちます。自分の気持ちが良いと思っていないと口説けないからです。

P50

女の子を口説きたいと思う前に、まずは自分を喜ばせたいと思っていました。だから、自分を満足させるために顔を作って、自分に合わせて生きていた。自分に合わないとい一生同じ顔で生きていけない。私たちは、即興で、想像して、完全に变身することを躊躇してはいけません。早くも1971年には、パーマとブロンドのハイライトをかけてもらっていました。私にとって一番欠かせない美容グッズは歯磨き粉でした：メガネのように歯を白くしたいと思っていました。

その代わりに、女優と付き合うようになりました。実際、私が10代の頃の最初の感動の一つは、映画プロデューサーのダンジガーの家で出会った崇高なクラウディア・カルディナーレでした。彼女の美しさに威圧されて、耳に火がついた。なので、女優さんが好きな人が多かったです。意図的な選択ではなく、そうっただけです。歌手に口説かれたことはないけどね。

P51

私の人生のどの段階でも、私のそばにはミューズがいました。女性の音楽に対する見方が好きです。音楽と言えばミューズがいるということです。作り手が女性や女性に愛され、賞賛されることは大切なことです。それにもかかわらず、私は彼らのために書いているのです。男性にも声をかけていても、私を奮い立たせてくれます。

多くの美女と付き合ってきたことが指摘されています。美しさは非常に主観的なままで、本質的には相手の目の中にある。そうは言っても、私は羨ましがられるのが好きなのは認める。男性が付き合っている女性を褒めてくれるのは、いつ見ても嬉しいものですよね。彼女が他の人といちゃついていない限り、そうでなければあなたは脅威を感じます。

自分には不可能なことはないと思込んでいました。私は何かを欲しがっていただけで、それを手に入れたのです。怪しげな目撃者が出てくるように、私は大声で挑戦していました。私をさらに刺激するためには、達成不可能と思われるチャレンジが必要でした。女性の場合もそうでした。私はただ、一番美しい人を誘惑したかっただけなのです。毎回、明らかに成功していませんでした。すべての人には失敗がある

P52



私の冒険が1ヶ月を超えることがほとんどなかったコレクター時代がありました。同棲していた頃は、懐かしい女性ばかりを恐る恐る見ていましたが、好きな人がいなくなると、人と一緒にいても完全に寂しさを感じてしまいます。

私は気まぐれではありませんでした。むしろ、社会的なルールへの制約や服従なしに、現在の喜びと楽しみを求めて。しかし、私は決してわがままで鈍感な人間ではなく、辞めてしまう人間でもありませんでした。私は見捨てられてしまいました。浮気をしたことがあるなら、浮気をしたことはない。浮気はモラル違反です。騙すことは嘘をつくことです。嘘をつくのが嫌いで、何でもかんでも告白してきました。他人のベッドで彼女のことを考えるよりも、自分の欲しい女性と一緒に寝る方が健康的だと思った。私は非常にマッチョな問題を抱えていました：私は女性が自分には物足りないと思いがちでしたが、その逆はありえない、受け入れられないと考えていました。

私は長い間 THE 女性を探していました、それは私に多くのことを知ってもらいました、彼らの誰も私が探していたものではありませんでした。安心させたい気持ちが大きかった。あまりにも多くのことを聞いてしまったので、どうしてもがっかりしてしまうのですが、そのようなことはありませんでした。だから、どんどん出会いが増えて、どんどん別れていきました。

当時は体を張っていました。非常に性的だ 私にとって、セックスは幸福の控えの間だった。喜びのためだけではなく、もっと大切なのは喜びを与えること。女を転覆させるほど美しいものがあるのか？彼女を悲鳴の現場に連れ戻すのか？その時の彼女の目に自分を見るために？

#### P53

セクシュアリティが非常にわかりやすいものだとしたら、人間関係はもっと難しい。女性にはセックスをする理由が必要ですが、男性はベッドがあればいいだけです。確かに「リビドー」時代には、寝ていた体を起こせるかどうか、何人かのテスターを呼んでいました。何ヶ月もモンソー王室に引きこもっていた私は、もはや官能的な欲望や愛を抱くことができずして。その間に結婚した人のために、夫の許可を得て面会させてもらっていました。ちょっとコルクを押しすぎと言われるかもしれませんが、それでも勝手に自助努力をするよりは、先にお願ひした方がいいと自分に言い聞かせています。これほどまでに多くの問題を抱えている人はほとんどいません。何度も言うけど、私は騙すのが嫌いなんだよ、騙しの職人はおろか、騙されるのが嫌いなんだよ。

セックスを奪われ、アイデンティティの危機に陥っていた。

#### P54

30代の絶頂期にある私は、『ポルナレフレクション』（ストック、1974年）の中で、セクシュアリティとの非常に特殊な関係を思い起こさせた：「それは慎重に考え抜かれた反知性である。それは、日時計の周りに蒔かれた認識、義務、企業の存在とは無関係に、上記の余白にある。それは節度と謙虚さの門限である。お祝いの熱い夜。

「自分の妄想を満たすためには、絶対に必要なことです。人は話さないから苦しくてニヤニヤしてしまう。彼らの喜びの死は、彼らの謙虚さである。誰もが性的な強迫観念を持っていて、誰もが少しシュールな欲望を持っています。彼らが何らかの形で自分を表現しなければ、罪悪感のある孤独感が生じてしまいます。」

とても解放感があり、自由奔放でした。

今は売り場を離れている。

最高の時間でした。エイズが来るまでは その時に人生の怖さを知ってしまった。私は運が良かったので、四方八方をグルグルし続けるのはロシアンルーレットをやっているようなも

のだとすぐに気がつきました。コンドームをつけるのは私にとって悲劇だった：私は不器用で、道を間違えていた。全く刺激的なことはありませんでした：コンドームの周りにひよこを置いてファックしたい気分になりました。エイズの歌を書いた一番の理由は、ドラマのプレイダウン、お祓いをするためです。怖いもの見たさで笑ってみてください。エイズに脅かされていた だから「Y'a pas l'sida」を歌ったら、「y'a pas l'feu」（火がない）と言っているようなものですが、火というものがあることを知っていますよね。

P55

エイズはない。お前と俺で行こうぜ 横転するぞ  
あなたと私は、ここにいます。

エイズはない。お前と俺で行こうぜ 横転するぞ  
あなたと私は、ここにいます。

どこに住んでいるのか教えてくれ 私が住んでいる場所を教えてあげよう  
説明するのに時間がかかりすぎる。

早く私を愛してくれよ

(※ "Toi et Moi" の歌詞より)

この仕事を始めた当初は、副次的に好きだったのはお金と女の子との成功だけでした。そこからあっという間に帰ってきて、仕事の質を重視しました。誘惑の仕事をしていなくなっても、誘惑されていることがわかるのがいいですね。私が喜ぶのを見るのが好きなんだ

Y'a pas l'sida. Toi et moi, on y va. On s'capotera.

Toi et moi, et voilà.

Y'a pas l'sida. Toi et moi, on y va. On s'capotera.

Toi et moi, et voilà.

Tu me montreras où t'habites. Je te montrerai où m'habite.

Ça prendrait trop de temps pour qu'ch't'explique.

Va falloir que tu m'aimes et vite.

女性への憧れが強いです。弱い方の性の話をしているのが理解できない。俺たちは逆さまになっている どんなに頑張っても、彼らの方がはるかに強い。なぜ女性は男性との平等を求めるのか 女性は最初から男性より優れている!

P56

今の私には、自分に合った家庭生活があります。とても気持ちの良い新体験ができました。自分に理由や方法を聞かない。 “あなたは大丈夫、私は大丈夫。何も不思議に思わない。” 流れに身を任せた 私は別の次元に入ったそれに伴うすべての楽しみと問題と一緒に。それと... 結婚したいと思ったことは一度もありません。結婚すると契約書を思い出すことが多すぎる。この署名されたコミットメントは、物事がうまくいかないときにのみ前に出されます。文章で愛を誓うのではなく、妬みから愛を誓うべきです。衝動が治まれば、大したことはありません。食欲の問題でしかない：妻が冷蔵庫の中身を説明するためのメモを残していたのに、夫が夕食のために家に帰らないと電話をかけてきた時点で結婚生活は終わっています

男と女は一緒に生きていくものではないし、カップルとしての生活はお互いに努力が必要だと本気で思っています。私たちは全く同じではありません。それは事実です。

しかし、私はこの相性の悪さに、それが暗示している浮き沈みや前後のすべてが、とても心地よく感じられます。

それでも私はチャンスを掴みたい

たとえ、たとえ

人生を燃やさねばならなくても・・・

(※ "Love Me, Please Love Me" の歌詞より)

Pourtant je veux jouer ma chance

Même si, même si

Je devais y brûler ma vie.

### 第3章

#### 私にとっては危険な仕事です

誇らしいというか、かなりいい感じになってきました。子供の頃の夢が叶った：イリュージョニストになってみた ちょっとしたマジック（と、たくさんのお作業）で、観客に夢を与えています。私の聴衆は... 私は最初で最後のファンです。私を愛してくれているムサイロンの潮のための提督です、私についてきてください。

怒らせるのは自分だけだと思っていた。たくさんいることに気がついたときには、喜びを、もしかしたら幸せを届けたいと思いました。自分の身内に、自分の属している人たちに。私の人生においても、音楽においてもそうですが、私はいつも人々に夢を見させたいと思ってきました。困難であり明らかな社会に、ちょっとした魔法をもたらすために。

#### P58

音楽は美しいピッチだと言ったことがあります。その言葉は褒め言葉として受け止めています。美しいという言葉が先行していることが多いです。音楽で決まると夜中に音楽があなたを呼ぶ。夜も眠れなくなることはありません。デートの時にシャットダウンしてくれる。ちょっと嫉妬に似ています。だからこそ、アーティストとしてのプロとしての側面が好きになれなかったんです。仕事だからこそ、やむを得ない制約があるという事実。

芸術家とは、義務的な重複がある。反対のことを言う人は、嘘をついているか、もっと悪いことに、自分自身に嘘をついている。私は、ポルナレフの歌を見えています。私は彼を見えています。そして、必要な時には彼と浮気をする。彼が舞台に立つことになったら、私は決められた時間に行かなければならない。本番がやりたい時ではないのかもしれませんが、それはそれで仕方がないことです。歌っているときに、急にクジラのように笑いたくなったらどうしよう。不可能：できないし、視聴者の期待を裏切りたくない。ポルナレフに期待されていることをさせなければなりません

私は偽りの謙虚さを忌み嫌っている、非常に才能があると認めていることにメガロマニアはありません。自分を信用していないので、自分を超越するためには、自分が世界で一番ダサイ男だと常に自分に言い聞かせる必要があります。私もあまり長い間それを考えていない：私はそれを知っている、私はあなたが忘れていない人の一人です。観客は動物的なセンスを持っていて、決して間違っていない。私は彼らの直感を信頼しています。

#### P59

また、私は多くの人よりも頭が良いと思っています。なぜ私がそんなことを言うのか？比較してみました。そうは言っても、私が間違っている可能性もあります。一部の人にはとても共感できるキャラではなかったことを後悔しています。私にとって重要なのは、私の近くにいる人や「本当の」ミッシェルを知っている人のためにそれをするということです。少し形が悪いかも知れません。私は「暴君的で優しい」という、知る人ぞ知る愛すべき人間です。いずれにしても、私は信じられないほどの優しさ、私に対する他人の並々ならぬ人気の暖かさを感じています。

どっかのソーシャルの reZOO でメロンを取ったという記事を読んだ。

完全に捏造だし、何よりも人種差別的な反射が嫌いだわ

そう、音楽と嫉妬は、いつもデートに来てくれない美人のグループの二人です。ある夜、二人が同時に現れたのを覚えています。朝の4時だったのでしょう。ノイユのアパートに入り浸っていたのですが、彼らと一緒に楽しんでいました。上の階の隣人は適度に楽しんでいたので、私の天蓋をライフルで撃ってはっきりさせてくれました。渋滞を避けてリビングでバイクに乗っていたノイユの邸宅で、ハモンド B-3 で「ラース家の舞踏会」を作曲していました。

## P60

アルバムを作るときは、絵描きのように、アルバムが完成するまでに何曲完成しているのかわからない。時間が必要なんだ レコード会社にとっては本当にエキサイティングな仕事だが、おそらく混乱を招くだろう。同時に、自分が良いと言っているのを聞くためだけに曲を作っているわけではありません。アルバムはまず自分をアピールしなければならないし、その上で発表しなければならないので、作り手と聴き手のコミュニケーションが成立します。

いくつかの評論家を読んでいると、書いている人たちは、自分への要求に対して、自分の膝がどれだけ柔らかいかを知らない。

嫌いなのは、新聞で醜いものを読んで、自分への恨み節を見て、自分のことを客観的に分析しないことです。

を作成しました。

## P61

父には何でもかんでも治してもらっていますが、私は腺狂なのですが、降りるとすぐにワーカホリックになってしまいます。普段はロンドンやブリュッセルなど雨が降っている場所で録音することが多いので、仕方なく録音しています。外の天気がいい日を逃さない。カリフォルニアの太陽から遠く離れたベルギーの首都に数ヶ月間滞在していました。私の周りには素晴らしいチームができました。ポリドールの裁量とこだわり感謝しています。そのディレクターであるエリック・ルリエーヴルは、毎週のように耐久バイクやレースバイクに乗っている偉大なスポーツマンです。我慢しているのはいいことだ（いや、自転車乗りになんかこと言っはいけない）、私のような完璧主義者と一緒に距離を走ったほうがいいのだ。

ユニバーサル・ミュージック・フランスのCEOである私の愛する“Pascal de Couleur”（パスカル・ネグレ）については、彼は私たちのコラボレーションにとっても満足していますが、そう、パスカルです。非定型で愛すべきキャラクターで、その性格からアーティストとの距離が非常に近くなっています。誰もが私のことをアメリカ西海岸よりも「西の方が」と思っている中、彼が私のことを言葉の男として語っているのを聞いたことがありました。本当のことだから、本当に心に響きました。私の言葉は世界中の全ての契約よりも価値があります。

## P62

このアルバムには時間がかかっているにもかかわらず、彼は話すことと作ることの違いをはっきりさせることができました。創作が予想外のことに満ちているとき、話し言葉は予測可能です。レコードを作成すると、日付を指定できません。パスカル・ネグレはブリュッセルのスタジオに定期的に会いに来てくれています。この制作期間中、私たちは信じられないほどの共感の瞬間を共有し、異なるビジョンや芸術的な選択について議論しながら長い夜を過ごしました。

スタジオでは、必ずしも意見を求めるわけではありませんが、聞いている人のボディランゲージを見ています。そして、ある瞬間にリズムカルに突っ込んでいく、目の前の足が拍子を止めてしまうようなこの印象で、歌に疑問を持ったとき、私は解決策を見つけようという考えに慰められています。私は自分の疑念を疑いますが、本能や経験ではありません。

下書きを聞きにスタジオに入ってくる人、ほぼ完成したと思っている人、完成したと思っている人（次回まで）の体たらくにはとても敏感に反応します。

実際、知らないうちに試験に合格して、言葉にできなかった兆候を教えてください。

私自身、芸術家、偉大なスポーツ選手、偉大な科学者を熱烈に崇拝してきましたし、今もそうですが、尊敬する人のサインがどれほど貴重なものであるかを知っています。私自身も

経験したことがあるので、だからこそ、自分が喜ぶ番が来た時、状況が整った時には絶対に断らないようにしています。

#### P63

当時アイドルだったポール・アンカがパリにいたことを知ったのは13歳くらいだったはず。

ジョージ・V・ホテルの外で一晩中彼を待っていたのですが、車のグラフが出てきました。大物歌手だと思っていました。私は今でもそうしています。後日、彼とテレビで再会する機会があり、その後、ロサンゼルスとラスベガスで再会しました。

サインを求められたことはありません！

カーペンティアのライブの時は、再生で歌わざるを得ない状況でした。視聴者からは非難されたが、本当は仕方がなかったんだよ！」とのこと。シルベール・ベコーは選択することを決めていた！もともとプレイバックを拒否していた彼は、観客への敬意を込めて、生で歌うという決断を押し付けたこともあった。当時の技術的手段と技術者の無関心さは、私にとってはアーティストを軽視したものであり、観客には音のガリマチが残されていた。私が覚えているのは、大規模なオーケストラと一緒に歌ったプログラムで、人数が多だけで、最終的には私がソロで歌い、唯一の伴奏はパーカッショニストのマーク・チャントローが弾く狂喜乱舞するタンバリンだけでした。

#### P64

マイクを持ってこないと持ってこれなかった。再生で歌うのはすでに非常に不愉快だったのですが、マイクがないとさらにとんでもないことになります。禁断のアクセサリーについて歌うために電気カミソリで自分の歌を披露することを思いつきました。馬鹿げたことをするなら、ユーモアを持ってやった方がいいかもしれない。ポール・アンカさんも招待されていたので、「貸してください」と声をかけていただきました。カミソリを投げつけた。

他のアーティストとコラボしたことはなく、私の大好きなマイレーヌ・ファーマーとはほとんど一緒に仕事をしていました。ロサンゼルスでは一度に何度も見たことがあります。私は、私たちの世界を混ぜるという考えに誘惑されましたが、私たちの意図はそれを許しませんでした。私はカレドとの「ノンノン人形」の彼のバージョンがとても好きでした。

マイレーヌが引っ込んで戻ってくるのが好きです -- 少年のように？いつもアポを取っている。

#### P65

また自分のアルバムを聴くのが好きです。今ではクラシックになっている曲もあります。基準です。私が違うことをするのはいくつかあります。それはさておき、現在微調整中のこのニューアルバムには、私の曲「Ophélie Flagrant des Lits」の新バージョンが収録されています。半分変態的で半分童謡的なこの曲は本当に好きです。原作は恥ずかしくてめっちゃくちゃだし、オフェリはそんな扱いに値しなかったし忘却の彼方に放り出されたから新拠点に戻ってくるんだよね オフィーリアはセカンドジェットが大好きで、ベッドからベッドに戻ってくるに値する。新しいバージョンで気に入っているのは、いくつかの音楽ジャンルのコラージュによって表現されたオフビートなルックスです。

レコードをあまり出さない理由の一つに、自分に投資しすぎて嫌気がさしてしまうというのがあります。本当に気をつけないといけないのは、「脳内」という自分にとっては危険な仕事だからです。10秒で終わる2つの対策に3~4週間かけてもいいですね。几帳面なので、例えば「できそうでできないだけ (Ya que pas pouvoir qu'on peut)」という曲では、168種類のミックスをやってみました。苦手というわけではないのですが、ものを昇華させるの

はかなり時間がかかります。痛快な仕事です。

#### P66

創造するためには、苦しみは必須です。それを感じるために、私はすべてのことをしてきました。痛い思いをするための努力をしてきました。アルバムを出すたびに脆くなっていく私に、力を取り戻していかなければならない。報酬である作り手のささやきは、最大で100万人半の人が目の前にいて、あなたの歌を聞いて、喜んで飛び上がっていく姿を見ることが出来ます。そして、あなたは、本当に、その価値があったと感じています。その人たちを幸せにした」と自分に言い聞かせることができたとき、それは大きな報酬です。すべての努力の果てにある最終的なもの。しかし、創造は疑念に基づいており、自分自身を理解し、他者に理解させることの難しさに基づいています。

このミスシオンをこの名前と呼ぶことができるならば、私は自分の職業に関連して幸せになる方法を知っているだけである。アレンジやミックスをチームに任せて、行ったり来たり歌ったりして去っていくパフォーマーが多いのは、正直羨ましいと思うことが多いです。それはそれとして、もちろん優秀な人材にバックアップされているとはいえ、スタジオでのマルチタスクで、実は一番気になっているのはこのリサーチワークなんです。そして、そのあとは、反対側に戻って、創造を忘れて、解釈に移って、この音楽を初めて聴いたときのように信じて、レコードのように聴こえてくるものに自分を驚かせてあげる。同時に、私はそれを仕事とは呼ばない。喜びを与えることを考えることを、私は創造と呼んでいます。ただ興味があるだけではないものを想像しないとイケませんね。聴いている人が幸せになれるようなもの。スタジオでは、実際に自分の身になってみることもあります。私は彼の聴衆の前で自分をポルナレフとして投影し、彼は何を聞きたいのだろうか、その聴衆は。誰が私の話を聞いてくれるのか想像して、その人の立場になって考えます。ステージ上では、最前列に立っている人と全く同じ日常の悩みを持つことができます。私にとっては、本当に大切にしている交換、共有です。

#### P67

スタジオで作ったものを三世代、四世代で歌うのを聞くのは、プレゼントしてからのお楽しみです。それは素晴らしいことです。ジミ・ヘンドリックスの“La poupée qui fait non”のヴァージョンや、サンフランシスコの有名なアルバムに収録されているスコット・マッケンジーの“The Mamas and the Papas”、ジョニー・ハーリーデイ、マイレーヌ・ファーマー、ピーター・マフェイ、ジェームス・ブラント、ザ・バーズの“The Birds with Ronnie Wood”、あるいはテレビのコンテストに出てきた新人アーティストたちのように、他の人がカバーしている曲を聞くと、とても嬉しくなります。露出を求めるタレントの重要な見せ場であるこれらの番組が、なぜこれほどまでにコケにされるのか理解できない。私たちはみんなそこにいました。批判されてる番組は視聴率の高い番組ばかりってのもおかしいと思うんだけどな

#### P68

私の曲の中には、大きな反響があったものもあります。1998年は自分のワールドカップのような感じでした。レ・ブルーを「On ira tous au paradis」で歌わせたジダンと、「シエリーに口づけ」を国歌に選んだサッカー日本代表チームの間で!

別の賛美歌を書きましたが、私の友人であるモナコのアルバート王子の要請を受けて、自発的に書きました。2001年、公国初のプロセレブ五種競技のために、「Go! Go! モナゴ!」。私は家族とかなり仲が良かったので、受け入れるのが自然な感じがしました。親しい友人として 私はアルバートがとても好きで、昔から知っています。私は彼の父親のことをとても尊

敬していました、それに加えて、ステファニーは私に小さな一面を持っていました、私は彼のアメリカへの出発のための良いアドバイスだったと思います。

日本が私の歌を国歌にしてくれたことは、とても光栄なことです。“休日”は日本人にとっても大切なものです。すべては愛しい人のために」と並んで、旭日旗の国で最も有名な曲です。

「愛のコレクション」は35年前から韓国で革命的な国歌の音楽的枠組みとなっている。労働者の闘争や1980年の光州蜂起を記念する日に取り上げられていると読んだことがある。もちろん歌詞も変えてくれました。軍隊によるデモ隊の殺害で始まる最も一般的なバージョンの翻訳をウェブ上で見つけました。

P69

花の花びらのように 真っ赤な血がクムラム口に流される...  
豆腐のように 美しい胸は半分に切られている 5月のあの日がまた来たら 私たちの中庭  
では刑務所は赤い血を読むだろう  
なぜ撃ったのか、なぜ私たちを刺したのか、そして死体を満載したトラックでどこに行ったのか？  
マンウォール界限は何千人もの充血した目をしている...  
5月のその日がまた来たら、私たちの法廷では、刑務所は赤い血と読まれるだろう。  
生きているすべての人に、すべての仲間に、集まって、一緒に出かけよう。  
輝かないとどうやってこの名誉ある話に亀裂が入るのか？  
もしまだ五月のあの日が来たら、私たちの心の中で、監獄は赤い血を読むだろう。

珍しく復活しましたね。いずれにしても、このことに気づかせてくれたのは、韓国のリアル出身のプロガー、ニコラさんとジャスティヌさんのお二人です。ポルナレボリューションは思った以上に進んでいました。

P70

これまでの人生でデュエットはほとんどしたことがありません。私の歌はオーダーメイドで、他の歌手は私の声域に馴染めないのです。ナナ・ムースクーリとはギリシャ語で一度だけ、シャルル・アズナヴールとは初期の頃に「la poupée」で歌ったことがあります。

私はいつもかなり寂しい思いをしてきました。フランスで行われていることすべてに親近感が持てなかったため、なかなか絆が生まれませんでした。友達がたくさんいたことはありませんでした。たまには夕食も？会う機会がないのが良かったです。何の反感もなく。

現代でも、世界の生産は非常に貧弱なようで、あまりにもフォーマット化されています。カントリーロックの中でこそ、自分が得をしているのだ。原則として、アメリカよりも英語制作の方が面白いと思います。

クインシー・ジョーンズとはとても仲が良く、彼のことが大好きです。私たちはよく似ています。何歳かと聞かれたことがあります。生年月日を覚えていない私は、もう知らないとして正直に答えた。大笑いさせてくれました。彼もまた、自分が何歳であるかを忘れていた。それ以来、記憶に残るようなことは何もしていません。

P71

ミッシェル・ルグランとも仲良しです。偉い」ミュージシャンと友達になったとしよう。尊敬していない人とは友達になれませんでした。もちろん、好きな人もいるのだが、それ以上に魅力を感じていない--そんな人たちは友達の中にはいない。ミッシェル・ルグランはヴィ

ル・トゥースのピアニスト。この人は本物のタコだな、プレイを見ているとすごいなと思う。この前、パームスプリングスの家に来た時に、私の有名なピアノを試してみないかと誘ったんです。なぜなら、私は世界一のピアノを持っているからだ。かなり素晴らしいヤマハのクォーターバックだ。他にはないような気がします。ミシェルは私と一緒にそれに感嘆した。ニューヨークにあるスタインウェイがとても綺麗なんです。

私には多くの仲間がいますが、道が別れてしまったとはいえ、彼女もたくさんいます。ダニは最初から友達のまま。彼女はいつもそこにいた。しばらく同棲していたのですが、服を盗んでしまったため、よく彼女を追い込んでいました。

とてもいい味を出していました。

私も昔からシルヴィ・バルタンが好きでした。彼女はロサンゼルスに住んでいたの、よく会っていました。私は彼女の息子のデイビッドをとて気に入りしています。とても素直で直球で素晴らしい人です。

## P72

彼は「シルク・デュ・ソムメイユ」のエピソードで非常に効果的で、ロサンゼルスでのシダース・サイナイ医療センターでの困難な時期に、人工的な昏睡を熱望する卑猥な覗き魔の平凡な軽率な行為から父親を守ることができました。

フランスで唯一、何かを共有していた歌手は、ジョニー・ハーリーだけだった。ジョニー・ハリデイに憧れていたし、キャリアをスタートさせた当初は何度かぶつかったこともあった。私が音楽業界に入ったばかりの頃には、彼はすでにかかなりの確立をしていました。彼がボスだった。一度に星一個分の余裕しかないと思ってたんだけど...。フランスの音楽市場はかなり小さかったので、あるアーティストは必ず別のアーティストを犠牲にして成功すると思っていました。ジョニーと私の間に競争はなかった。彼はいつも私を見てくれていて、私は新世代を体現していた。新世代でも後継者でもなく、見たこともないし、聞いたこともない。

誰も私を責めていない。ジョニーはそんなことはしなかった、彼は生き残って何でも生き延びるだろう。

## P73-74

同じ報道官のシル・パケがいたので、同じプロモ番組をよくやっていました。付き合い始めたんだ。人柄が良かったです。彼が何をしても、いつもジョニーがいた。気取らない人だったが、逆に人見知りだった。個性的なキャラクターでした。

1971年春、大病を患っていた彼のピアニストの後任として、連続演奏会の依頼を受けました。反対したわけではなく、それどころか、とても面白かったです。シル・パケは私のロックンロールの名人芸をピアノで披露し、ジョニーはそのアイデアに魅了されました。残念ながら、私のスケジュールではその夜はできませんでした。

そこで数ヶ月後、プレスエージェントの協力を得て、ロックメドレーのステージに同行してジョニーを驚かせました。ピアニストの居場所を目立たないようにしていたのですが、彼が歌い始めるまで気づかなかったようです。実はいつものように弾いていなかったピアノを聴き始めていた。本当に楽しい時間を過ごすことができました。コンサートの後、二人だけでご飯に行っただけです。ジョニーは、9月21日から10月14日までパレ・デ・スポーツのステージで、このロックメドレーの演奏を繰り返してくれないかと誘ってくれた時は、本当に陶醉した。空いていたので、アメリカンスタイルの「BEUF」のアイデアが気に入りました。ジャニーズに背を向けていた時の媚びた共犯関係を維持するのは容易ではありません。私は伴奏する歌手との視覚的なつながりを保つために、ピアノに2つの鏡をねじ込んでいま



したが、それによってナネット・ワークマンの細身のフォームを鑑賞することができ、重要なディテールでした。私はいつもジョニーを尊敬し、友情を育み、尊敬していました。

偉大なロックギタリストになっていたかった。この王道でアイドルの足跡を辿らなかった理由をよく聞かれます。でも、ロックキッズになるとポップの先駆者にしかなれないんですよね。

でも、だからと言って、コンサートのたびにロックを楽しんでいるわけではありません。

#### 第4章

#### 幼少期の重さへの復讐

ショパンの胸像の前で育った私は、クラシックピアニストになることを運命づけられていました。まあ、なんでだろう？別の缶詰を選んだこと以外はね。それはショパンを愛することを止めませんでした。母も彼のことが大好きでした。崇高だよ、ショパン。マゾヒスト、彼はマルタイヤに苦しめられた。偉大な拷問者。それゆえに、彼のロマンチズムの達人である。私自身は、文字通りの意味での真のロマンチストであり、「想像力に支配されることを許し、寛大だがユートピア的なベンチャーに情熱を注ぐ人」です。»

クラシック音楽を演奏すると、楽譜の奴隷になってしまう。遊ぶものの美しさを考えればもちろん贅沢な奴隷ですが、固定された文章に完全に服従していることに変わりはありません。8分音符から離れられない。師匠のように、自分の音楽を作る必要がありました。子供の頃は、自分が自分であることを夢見ていました。他にもたくさんことがあります。まだまだ時間はあります。

P76

音楽、スポーツ、科学、あらゆる芸術以外に興味のあるものはありません。たとえそれが路上でやるということであっても。昔はそうだった。保険会社の事務員をしていた時に、いつか有名になるんじゃないかと盗聴し続けていました。歌謡界のスター。みんなを笑わせてくれました。後に銀行で働いていた時、私はこの固定観念を、後に同僚の一人と共有したままにしていました。彼はモンマルトルで歌う「ビートニク」のことを言っていた。路上で音楽を共有するという発想が好きでした。

路上では、自宅で

路上では、映画を見ている...

通りでは、私は生まれ変わる

ああ、ビーブ、ビーブ

(※ "Dans la Rue" の歌詞より)

*Dans la rue, j'suis chez moi  
Dans la rue, j'suis au cinéma  
Dans la rue, je renais  
Ouais, Beep, Beep*

P77

ビーブ、ビーブ、コヨーテと対峙するロードランナーのように、私は本物のミュージシャンになるために家出をしていた。10本の指でやりたかったことはそれだけです。他人のために音楽を奏でる。共有するために。奴隷になっていたあのアップライトピアノから逃げ出してしまう。ピアノの264本の弦を腕の長さで運ぶのは大変でした！弓の弦数を減らすことを選択したことで、私はギタリストになっていました。ブルバード・ボーマルシェ、ポール・ビューチャーの店では、より高く弾けるようにジャンゴ・ラインハルトのような中空のベー

シックな6弦ギターを購入していました。私はジャンゴとの共通点はギターの形だけで、「3日でギターを覚える方法」のような方法で3つのコードしか覚えていませんでした。

E,A,Dの3つの和音をあっという間にマスターしていたので、「La poupée qui fait non」が誕生します。何よりも、ロックンロールを演奏したり歌ったりする自由にイエスと言いました。自分の人生を発明するために

これらのコードは、世界中のすべての初心者ギタリストのための古典となり、学ぶのが難しく、瞬時にやりがいを感じられなかった「禁じられたゲーム」に取って代わりました。

私はどうやってビートニクになったのか？私が与えていた定義では、1つを持っていないことが唯一の職業であると、あなたが望むものは何でもしてください。機会が与えられたら、他の人と同じように、より良いものでなければ、同じくらいのことをしましょう。反乱？それは父に対してだけだった。自分の歌のために戦う必要はなかったんです。

#### P78

この仕事は運がなければ考えられません。そして、たくさん食べてきました。私の人生ではありませんが、この天職ではそうです。

街中が楽だったとは言っていない。家を出た日のことは忘れません。実家暮らしを続けるために家賃を願うという思いやりが父にはありました！

突然、現実の生活を発見してしまったので、大きなショックでした。完全に混乱し、無一文になった私は、13日間も食わずに過ごしていました。水しか飲んでいませんでした。私はもう、あまり太くなくて、怖い目にあっていました。ラマルク＝コーランクール地下鉄の暖かい口を好み、ドラフトからほどよく離れた地下鉄の駅で寝ました。私は定期的に警察に拾われ、サクレ・クールの神父（無残にも不足していた）から放浪と公序良俗の乱れを訴えられていました。私は看守に、これは一時的なものに過ぎないと説明しました。「いつか私はスターになる」と彼らは知っていましたが、彼らは確信が持てませんでした。

私はすべてを放棄した。文字と数字。特に本。授業に行った時には十分に読んでいました。もう読まないと言った。子供の頃の重さにリベンジしました。私の父のくびきの上に。

#### P79

音楽で生活していました。私は、少なくとも私のその場しのぎの大衆の寛大さを勧誘することができませんでした：それはプライドが関係していたのでしょうか？ それにもかかわらず、私は音楽理論で金メダル、コンセルヴァトワールで1位になりました！私はそれにもかかわらず、私は音楽理論のための金メダルを持っていました。そして、気がつけばお金の勧誘ができなくなっていました。近所の女の子たちが助けに来てくれた。私はいつも女性の優しさに感化されています。それが私の男子供側です。幼少期に価値のある名前を持っていなかった人がセカンドチャンスに値するかと考えてみてください。そして残業も！

観客席で帽子を渡していたビュートの小さなパン屋さんを感謝の気持ちを込めて覚えています。私は敬遠されていましたが、彼女のおかげで商業的には成功に変わりました。私は1日に500フランまで稼いだので、皆のためのカバーを確保しました：フレンチフライのラウンド、良い日にはマスタードが追加されています。

#### P80

ピアノを完全に否定していたわけではありませんでした。何日かの夕方には、ジェリー・リー・ルイスとリトル・リチャードをタルトル広場のラ・クレメイエールで演奏することになっていた。現在でも、このレストラン・キャバレーでは、夕食時にピアニストの伴奏が行

われています。

星空の下での3度の冬の間によくのことを学んだので、後悔はしていません。たとえ良い思い出があったとしても、あの時のことを思い出したくないですね。本当に知らないうちに快適さを諦めていました。家では、貧乏な時は貧乏人のように生活していました。外では、私は正しかった。タフだった！

1965年は私にとってトラバドールの年でした。音楽を唯一の荷物にしてフランス中を旅してきました。ペサックの青少年センターに泊まったことを何となく覚えています。目に留まるように、舞台となるアスファルトの上の舗道に絵を描いて、仲間の真似をしてみました。私は美術愛好家を誘惑するのが得意ではなかったので、下手な絵はすぐに効果的な散文に置き換えられました。絵は描けないけど、お腹が空いた」と、芸人としての才能を発揮してくれました。

P81

冬になって、物事を動かしたくなって（いつまでも路上生活をしている自分を見ることができなかった）、ロンドンへと旅立った。何人かのプロを納得させたかった。彼らは私が偉大なキャリアを持つことになるという確信を持って、私を馬鹿にしていたに違いない：他のシャイな人々と同様に、私は信じられないほどのふりをすることができました。才能が勇気を与えてくれました。サザンミュージックの編集者は、「The Doll Who Says No」をいち早く聞いていた。こんにちは、私の最初のコンタクトはノンビジョナリーとのものです。最初は英語で書いていたのですが、思うような反響がありませんでした。

最初は

女友達の発案で、ゴルフドルーでロックンロールコンテストをやっていました。女の子、女の子、女の子、女の子...。そして、バディ・ホリーと「ペギー・スー」と「ザット・ウィル・ビー・ザ・デイ」のロコモティブのコンテストで優勝しました。実は競っていたのではなく、楽しんでいました。賞品はバークレイとの契約だった 私が断って次点の シリルという男に渡したんだ ステージの最前列にはいたくなかった。歌手になるつもりはなく、作曲家になりたいと思っていました。人のために曲を作りたいと思っていました。だから私は、彼らがオリンピアから出てきたときに、というか、シャドウズとピーター、ポール、マリアに会って、彼らに私の作曲を提供するために。自分で歌うように励ましてくれていました。

P82

フィデスコースの長年の友人で、私をずっと信じてくれていたジェラルド・ウーグが、出版社のロルフ・マルボットを紹介してくれました。彼はかなりの男で、最初は私の容姿に誘惑されなかった。私自身、彼の葉巻はあまり好きではありませんでした。助手（女性は私の救世主であることが多い）に励まされて、彼は私をパフォーマーにしたいと言い出したのです。脚光を浴びたくないといみんなに説明できたけど、いつもスポットライトを浴びようとしてくれた。

編集者の熱意を落ち着かせ、ファースト・アルバムのレコーディングを断ることを聞いてもらうために、私は不可能なことをお願いしました。ギターのジミー・ペイジ(彼は当時ヤードバズとレッド・ツェッペリンの間にいました)、ベースのジョン・ポール・ジョーンズ、ロンドンの一番大きなホテルの一番大きなスイートルーム、数人の夜のコンパニオン...。全てにイエスと言われていた私は、ドノヴァンが「Mellow Yellow」をレコーディングしたスタジオにいた。

フランス語で歌うことを条件に

ある日から「ノンノン人形」は有名なタイトルになりました。俺じゃない！ ミシェル・ポ

ルナレフが誰なのかは知りませんでした。テレビに招待された司会者は、ジョルジュ・ポルナレフという少年が1年かけて髪を伸ばしたとまで発表していました。その時の私にはそれしか言えなかった。なんと輝かしい肖像画でしょうか。ヨーロッパ1では1日に何回目かわからないくらいノンストップで曲が流れていました!そして、全放送で潮騒でした。それは国境を越えて、絶対に前代未聞のものになっていた。“ノーと言う人形”が主役で、私はただの通訳でした。ファーストシングルで20万枚売れたのはかなりのもんだな

フランスは反対するのが好きなんだよ ノーと言うこと。ウィ・ウィ人形』を出していたら、ここまでの勝利にはならなかったでしょうね。この曲の成功は私の人生を完全に変えました。

P83

突然、嬉しそうにしている人と、いつものように嫉妬している人がいました。私の人生の物語!この小さな奇跡を共有するために、モンマルトルの階段で困難に直面している友人たちに会いに行っていたのですが、私は休憩のような気分になっていました。彼らの目には変化があるうちに、私が変わってしまったことが頭に入っていたのです。オリンピックでビーチボーイズのオープニングをやった時には、全員を招待していました。歌っている間ずっと口笛を吹いていました。認められたからといって断られるのはとても憂鬱で、私の成功の一部になるためだけに招待していました。彼らは私の困難な日々の一部だったので

P84

ヒット曲を1曲でも2曲でも作るのは難しいことではありません。一方で、出世するのはとても大変です。Lucien Morisseは、ヨーロッパ1が設立したレーベルDisc'AZと契約し、彼は番組のディレクターを務めていました。開拓者のルシアン・モリスだった。私と同じように、プレイリストという概念を輸入して、大西洋の向こう側で何が起きているのかをかなり早い段階で見ている。私の「人形」が一日に何度もラジオに出ていたのは、彼のおかげです。彼の熱意と聞き上手さが気に入りました。私の発音できない名前でも止まっていたビジネス全体に反して、彼は私の音楽を聞いていた。

彼は私のキャリアを励ますつもりだった

ルシアン・モリッセは、クロード・フランソワのインプレサリオであるポール・リーデルマンと非常に親しかった。そこでDisc'AZのボスは、友人に私がいた若いアーティストのプロモーションに手を貸してくれないかと頼んでいました。1966年、クロード・フランソワは2ヶ月間のツアーに出たばかりで、7月からのオープニングアクトがなかった。彼のショーの「食前酒」として私を連れて行くことに同意していた。彼はまだクロデッツを持っていなかったが、10人ほどの音楽家の伴奏で、吹奏楽団と一緒に演奏していた。

P85

私は彼のショーの質の高さに感心しました、このミリ単位のマスター、クロード・フランソワは驚くほどプロフェッショナルでした。印象的です。そのようなアーティストのオープニングアクトをすることは、私にとってすでに神聖なものでした。シングルは2枚しかリリースしていませんでしたが、「ノンノン人形」と「Love me, please love me」という2つの大ヒット曲を持っていました。

それにしても、こんな奴がチャンスを与えてくれるとは驚きでした。そして、私の掴み方に魅了されていました。クロード・フランソワは、舞台に立つ前に、すべての儀式を必要としていたことを知っておく必要があります。彼とは、すべてが計算され、リハーサルされ、最後の1ミリまで。だから私のものと言われる直前に技術者たちと楽屋でサッカーをしている私を見て、彼は興味をそそられました。服装も変えてないのに、ギターを武器に、武器を持たずに戦いに臨んでいた。私の曲は私のバナーであるクロードは、ほとんど準備をしなくても国民を征服できることに驚いていた。そして2曲!とにかく彼を困らせ、私の演奏中に調光を要求するほどでした。と、リバーブではなく、弱めの音を鳴らしています。彼の光を

奪いたくなかった。

P86

クロード・フランソワのツアーでは、必ずしも私を楽しんでくれたわけではありませんでしたが、彼は私の足を踏みにじってくれました。数年後、彼は雑誌「Podium」で定期的に私のことを取り上げてくれました。彼はいつも素晴らしいプロです。

1975年、森の国立でのコンサートのためにブリュッセルにいたとき、レストランで出会った。クロードと言葉を交わした後、「あなたがやったことは本当に面白い。あなたは私にはない勇気を持っていた 何もかも捨てて去っていく勇気。"1978年に恋人とロサンゼルスに移住することを最終的に決めていたことを知ると、直前に亡くなってしまったのは残念です。躁病の境目になるほど慎重だった彼とは似ても似つかない死。

=メモ=



Not to be divided.  
to others.